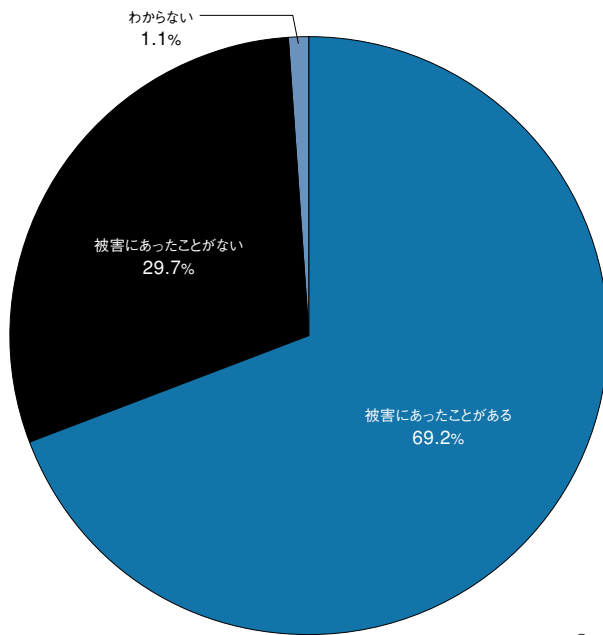


セキュリティ被害

セキュリティ被害にあったことがある企業は69.2%

資料4-4-1 セキュリティ被害の有無 N=818

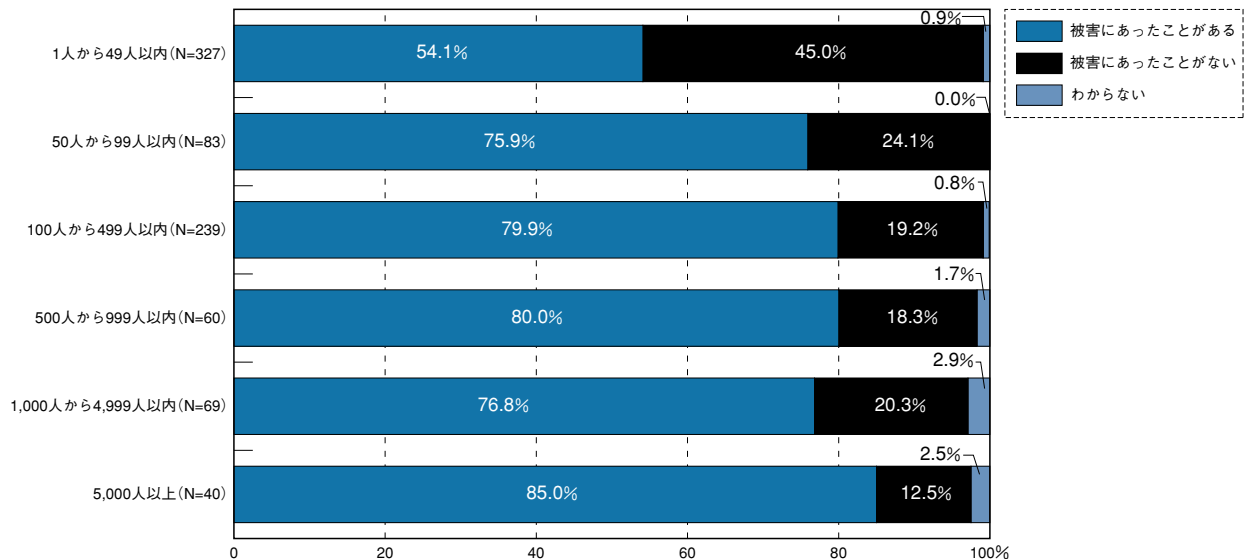


何らかのセキュリティ関連被害にあったことがあるという企業の比率は69.2%にとどまり、被害にあったことがないという企業は3割近くという結果となった。しかし、メールに添付されてくるワームによって、PCに被害を受けたユーザーが社内に1人以上存在する企業はもっと多いのではないだろうか。

©impress,2004

大企業ほど被害率が高い

資料4-4-2 従業員規模別 セキュリティ被害の有無



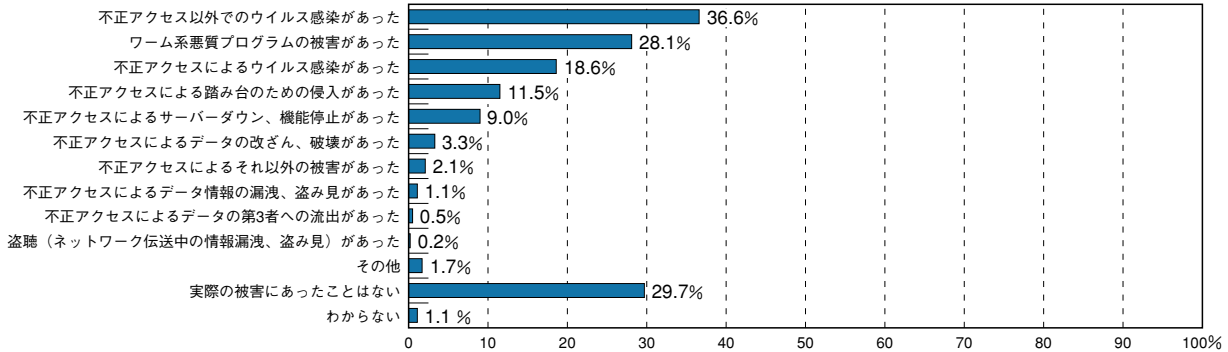
©impress,2004

前項の結果を従業員規模別に見たものがこれである。49人以下の小規模企業において、セキュリティ被害にあったことのある企業が半数にとどまっていることが、全体の被害率を引き下げていることが分かる。それよりも大きな規模の企業では、被害率は高く、5,000人以上の企業では85%にも達している。

セキュリティ被害

ウイルスやワームによる被害が目立つ

資料4-4-3 セキュリティ被害の内容 N=818

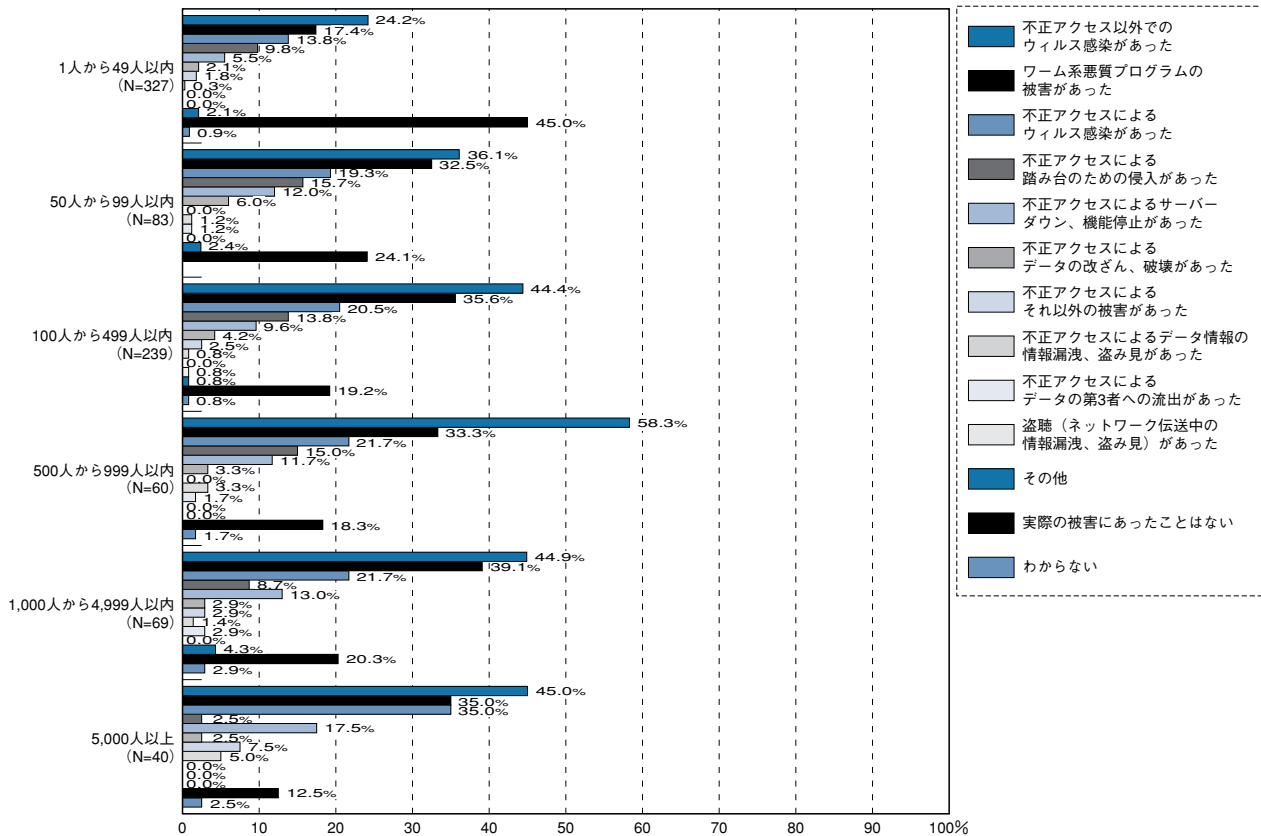


電子メール等を経由したウイルスやワームによる被害がずば抜けて目立っている。不正アクセスを原因としたサーバーダウンや機能停止、データの改ざん、破壊を受けた企業の数が無視できないレベルに達しているのも気になる。

©impress,2004

企業規模が大きくなるほど不正アクセスによる被害が多い

資料4-4-4 従業員規模別 セキュリティ被害の内容



電子メール等を経由したウイルスやワームによる被害が多いのは規模にかかわらず共通である。不正アクセスによるサーバーダウンや機能停止は、企業規模が大きくなるほど該当企業が増えている。

©impress,2004



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp